

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                        |    |        |             |
|----------------|------------------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名          | 児童発達支援・放課後等デイサービス コラソン |    |        |             |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 1月 25日           |    | ～      | 2025年 3月 7日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                 | 42 | (回答者数) | 33          |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 1月 25日           |    | ～      | 2025年 3月 7日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                 | 11 | (回答者数) | 11          |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 7日            |    |        |             |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること    | 工夫していることや意識的にやっている取組等                                                                          | さらに充実を図るための取組等                                                                                                      |
|---|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 固定化されないように工夫されたプログラムや多様な人と関わる機会を提供できている       | 外部講師を招いてリトミック（音楽療育）やアイシングクッキー作りといったプログラムを行ったり、地域の農家さんと連携して田植え等の農業体験を行うなど、多様な人と関わるができるよう工夫している。 | 多様な人と関わることは出来ているが、関わる相手が大人である場合が多い。利用者と年齢に近い障がいのない子どもとも関わる機会を持つことができるよう、交流できる地域イベントに参加するといった取り組みを行う。                |
| 2 | 保護者に子どもの様子を共有し、課題について共通理解を持ったうえで支援を行うことができている | 送迎での引き渡し時に、事業所の様子に加えて学校からの申し送りも伝えたり、個別で面談の機会を設けることで、子どもに対する支援方針や課題への共通理解を深められるよう工夫している。        | 保護者と話し合った支援方針を会議で共有し、具体的な支援方法まで話し合うことで、職員間での共通理解も深められるように努める。加えて、学校での支援内容も聞き取り、保護者だけでなく学校や他事業所等の関係機関とも連携して支援を行っていく。 |
| 3 | 子どもや保護者からの相談や申し入れに対応することが出来ている                | 子どもからプログラムのリクエストを募集して実現させたり、保護者からの要望を事業所内で共有し、会議で具体的な対応策を考えたと上で実践している。                         | 事業所内における相談対応だけではなく、家庭内での困りごとや悩みにも対応できるよう、個別での面談を設けて聞き取りを行う。また、聞き取った内容に対して事業所で取り組めることを保護者や児童と話し合うように努める。             |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                                                         | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                                |
|---|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 児童クラブや地域の児童などの交流や、障がいのない子どもと活動する機会が少ない     | 公園での活動時に地域の子供達と一緒に遊んだりといったことはあるが、地域イベント等の交流の場に参加することは少ない。                                                 | 社会福祉協議会が案内を出しているイベントなど、地域交流を目的としている場に関する情報収集を行う。また、普段の活動時にも、公共の施設や交通機関を利用し、地域の人々と交流できる機会を増やしていく。    |
| 2 | 日々の活動の様子が伝わるような工夫が足りていない                   | 公式HPにブログを掲載し、普段の活動の様子などを発信しているが、閲覧にまで至っていないと考えられる。また、送迎時に口頭で事業所での様子を伝えてはいるが、保護者からは「写真でも様子を見たい」との声も挙がっている。 | 普段の配布物にQRコードやURLを添付することで、ブログの周知を行う。また、個人情報の保護に十分配慮した上で、連絡帳に活動の様子を収めた写真を貼り付けるなどして、希望に応えられるように工夫していく。 |
| 3 | 父母の会等、保護者同士の連携に対する支援が不足している                | 利用している方に向けて保護者会を設けているが、頻度は多くなく、面談を実施するときにも個別で行うことが多い。                                                     | 同じ困りごとや悩みを抱えている方や保護者同士で繋がりのある方を複数名招き、座談会といった形で交流を図れるように取り組む。                                        |